

2級の1

2は裏面

第63回 簿記実務検定第2級試験問題

商業簿記

(制限時間 1時間 30分)

1

- 次の取引の仕訳を示さない。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。
- さきに、静岡商店から受け取っていた船荷証券 845,000 を、本日、佐渡商店に 1,070,000 で売り渡し、代金は同日振り出しの約束手形で受け取った。
 - 取得原価 500,000 の事務用カラーコピー機を 100,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。なお、このカラーコピー機に対する減価償却累計額は 360,000 であり、備品減価償却累計額勘定を用いて記帳している。
 - 岐阜物産株式会社は、決算にあたり、当期の法人税・住民税および事業税の合計額 3,900,000 を計上した。ただし、仮払法人税等勘定の残高が 2,000,000 ある。
 - 愛知商事株式会社は、増資のために、株式300株を1株につき 80,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株につき 40,000 は資本金に組み入れないことにした。なお、この株式の発行に要した諸費用 150,000 は小切手を振り出して支払った。
 - 長野商店から注文のあった商品 800,000 を発送し、代金のうち 600,000 については、取引銀行で荷為替を取り組み、割引料を差し引かれた手取金 597,000 は当座預金とした。なお、残額は掛けとした。
 - 三重商事株式会社は、発行している次の社債について、半年分の利息を小切手を振り出して支払った。
額面総額 30,000,000 利率 年3% 利払い 年2回
 - 山梨商店の甲府支店は、広告料 80,000 を現金で支払った。ただし、このうち 50,000 は本店の負担分であり 30,000 は大月支店の負担分である。なお、本店集中計算制度を採用している。(甲府支店の仕訳)

2

- 次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳・買掛金元帳に転記さない。ただし、
- 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 - 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
 - 総勘定元帳・売掛金元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 - ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。

取引
 /月/5日 金沢商店から商品 680,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。
 /7日 富山商店に対する売掛金 520,000 を同日振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
 20日 石川商店から受け取っていた約束手形 390,000 が、本日、満期となり当座預金に振り込まれたとの連絡を取引銀行から受けた。
 26日 福井商店に対する買掛金 430,000 を小切手を振り出して支払った。

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 新潟商店(個人企業)の下記の資本金勘定と資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 売上原価		b. 期首資本		資料	
12/31	引出金	1/1	前期繰越	期間中の収益および費用	
〃	次期繰越	6/30	現金	売上高	9,427,000
		12/31	損益	受取手数料	53,000
				売上原価	
				営業費	1,930,000
				当期純利益	570,000
				期末の資産総額	3,820,000
				期末の負債総額	1,430,000

- (2) 中部商店(個人企業)の平成〇年/2月3/日における本店および支店の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 支店勘定残高・本店勘定残高の一致額		b. 本支店合併の買掛金		c. 本支店合併の売上総利益	
資料		本店		支店	
i 元帳勘定残高(一部)		繰越	繰越	買支	買支
	繰越	740,000	740,000	890,000	450,000
	買支	860,000	860,000	(借方)	
	本売	9,250,000	9,250,000		700,000
	仕入	7,280,000	7,280,000		3,100,000
	ii 決算整理事項(一部)				2,540,000
	期末商品棚卸高	本店 675,000	675,000		
		支店 140,000	140,000		

- iii 未達事項
- 本店から支店に発送した商品 90,000 (原価) が、支店に未達である。
 - 支店から本店に送付した現金 40,000 が、本店に未達である。
 - 本店で支店の買掛金 [] を支払ったが、この通知が支店に未達である。
 - 支店で本店受取分の利息 20,000 を受け取ったが、この通知が本店に未達である。

2 級の 2

1 は 表 面

第 63 回 簿記実務検定第 2 級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

4

東京商店の 1 月 25 日の略式の伝票から、仕訳集計表 (日計表) を作成しなさい。ただし、次の取引について必要な伝票に記入し
たうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処
理する方法によっている。

取引

1 月 25 日 品川商店に商品 260,000 を売り渡し、代金はさきに受け取っていた内金 30,000 を差し引き、残額
は掛けとした。

入金伝票		出金伝票		売上伝票	
売掛金	190,000	当座預金	32,000	世田谷商店	289,000
受取利息	12,000	買掛金	197,000	新宿商店(戻り)	21,000
当座預金	347,000	消耗品費	8,000	足立商店	159,000
売掛金	181,000	買掛金	143,000	新橋商店	397,000
() ()	() ()	() ()	() ()	練馬商店	180,000
() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)		仕入伝票	
当座預金	156,000	受取手形	156,000	渋谷商店	274,000
買掛金	230,000	当座預金	230,000	赤羽商店	120,000
買掛金	100,000	受取手形	100,000	市ヶ谷商店	350,000
受取手形	340,000	売掛金	340,000	楽鴨商店(値引)	3,000
() ()	() ()	() ()	() ()	上野商店	168,000
() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()

5

北陸商店 (個人企業 決算年/回 1/2月3/日) の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。

- 付記事項の仕訳を示しなさい。
- 整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。
- 損益計算書 (2区分) および貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高		当座預金		受取手形	
現金	729,000	貸倒引当金	3,154,000	有価証券	1,800,000
売掛金	4,640,000	備品	56,000	備品減価償却累計額	1,720,000
繰越商品	1,390,000	買掛金	1,500,000	借入金	675,000
支払手形	1,350,000	資本	2,900,000	売上	1,600,000
従業員預り金	340,000	入金	7,000,000	給料	19,880,000
受取手数料	170,000	仕入	15,930,000	消耗品費	1,740,000
支払家賃	1,056,000	保険料	147,000	雑費	53,000
雑費	72,000	支払利息	40,000		

付記事項

① 手数料 5,000 を現金で受け取っていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- 期末商品棚卸高 1,460,000 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ 5% とする。ただし、貸倒引当金の残高は全額戻し入れること。
- 備品減価償却高 取得原価 1,500,000 残存価額は取得原価の 10% 耐用年数は 6 年とし、定額法による。
- 有価証券評価高 有価証券は、売買を目的として保有する輪島商事株式会社の株式 20 株 (帳簿価額 @ 86,000) であり、1 株につき 89,000 に評価替える。
- 消耗品未使用高 12,000
- 保険料前払高 保険料のうち 84,000 は、本年 10 月 1 日に 1 年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- 家賃未払高 96,000

仕訳集計表

平成〇年/月23日

借方	貸方	科目	借方	貸方
		現金		
		当座預金		
		受取手形		
		売掛金		
		買掛金		
		()		
		売上		
		受取利息		
		仕入		
		消耗品費		

5

(1)

借方	貸方
①	

(2)

借方	貸方	貸方	貸方
a		d	
b		e	
c		f	
		g	

借方	貸方	貸方	貸方

(3) 損益計算書

北陸商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

貸借対照表

北陸商店 平成〇年/2月3/日

費用	金額	収	益高	金額
期首商品棚卸高		売上	期末商品棚卸高	
仕入				
売上総利益				
給料	()	(受取手数料)		
()		()		
支払家賃		貸倒引当金戻入		
保険料				
消耗品費				
雑費				
支払利息				
()				

資産	金額	負債および資本	金額
現金		支払手形	
当座預金		買掛金	
受取手形		借入金	
貸倒引当金		従業員預り金	
売掛金		(資本)	
貸倒引当金			
有価証券			
商品			
()			
()			
備品			
()			
減価償却累計額			

試験場校	受験番号
------	------

2級の2得点

総得点

4

仕訳集計表
 平成〇年/月,25日

借	方	平	勘定科目	平	貸	方
	730,000		現金		380,000	
	188,000		当座預金		577,000	
	340,000		受取手形		256,000	
	1,285,000		売掛金		762,000	
	673,000		買掛金		912,000	
	30,000		(前受金)			
	21,000		売上		1,285,000	
			受取利息		12,000	
	912,000		仕入		3,000	
	8,000		消耗品費			
	4,187,000				4,187,000	

5

(1)

借	方	貸	方
① 現金	15,000	受取手数料	15,000

(2)

借	方	貸	方
a 仕入	1,390,000	繰越商品	1,390,000
繰越商品	1,460,000	仕入	1,460,000
b 貸倒引当金	56,000	貸倒引当金戻入	56,000
貸倒引当金	322,000	貸倒引当金	322,000
c 減価償却費	225,000	備品減価償却累計額	225,000

借	方	貸	方
d 有価証券	60,000	有価証券評価益	60,000
e 消耗品	12,000	消耗品費	12,000
f 前払保険料	63,000	保険料	63,000
g 支払家賃	96,000	未払家賃	96,000

(3) 損益計算書

北陸商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	1,390,000	売上高	19,880,000
仕入	15,930,000	期末商品棚卸高	1,460,000
売上総利益	4,020,000		
給料	21,340,000		21,340,000
(貸倒償却)	1,740,000	(売上総利益)	4,020,000
(減価償却費)	322,000	受取手数料	185,000
支払家賃	225,000	(有価証券評価益)	60,000
保険料	1,152,000	貸倒引当金戻入	56,000
消耗品費	84,000		
雑費	41,000		
支払利息	72,000		
(当期純利益)	40,000		
	645,000		
	4,321,000		4,321,000

貸借対照表

北陸商店 平成〇年/2月3/日

資産	金額	負債および資本	金額
現金	744,000	支払手形	1,350,000
当座預金	3,154,000	買掛金	2,900,000
受取手形 (1,800,000)		借入金	1,600,000
貸倒引当金 (90,000)	1,710,000	従業員預り金	340,000
売掛金 (4,640,000)		(未払家賃)	96,000
貸倒引当金 (232,000)	4,408,000	資本金	7,000,000
有価証券	1,780,000	(当期純利益)	645,000
商品	1,460,000		
(消耗品)	12,000		
(前払保険料)	63,000		
備品 (1,500,000)			
減価償却累計額 (900,000)	600,000		
	13,931,000		13,931,000